

**Documented Contradictions in Medical, Police,
and Administrative Records
Following a Hospital Death in Japan (2010–2026)**

**Evidence Brief for International Investigative Journalists
(Primary documents included)**

Prepared for SecureDrop submission No personal information included

Archive website: <https://mortality-record-discrepancy.org/>

Executive Brief (2-Page Summary for International Investigative Journalists)

Case: Documented Contradictions in Medical, Police, and Administrative Records Following a Hospital Death in Japan (2010–2026)

Overview This brief summarizes a set of **verifiable contradictions** across medical records, police explanations, autopsy-related documents, financial records, and civil registry processing following a patient's death at Toride Kyodo Hospital (Ibaraki, Japan) in 2010. All findings are based solely on **primary materials**: PCI footage, medical charts, nursing notes, CT images, laboratory data, invoices, police statements, administrative documents, and handwriting comparisons.

A full archive is available at: <https://mortality-record-discrepancy.org/> (English/Japanese; no trackers; all files hash-verifiable)

1. Medical Domain — PCI Footage vs. Medical Records

Primary imaging shows:

- Left main coronary artery dissection and complete occlusion
- LAD dissection and perforation
- Extravascular leakage of contrast
- A stent-like foreign object outside the vessel
- Two periods of missing PCI footage (27 min and 18 min)

None of these findings appear in the medical chart. Family was told the PCI “succeeded.”

2. Judicial Domain — Autopsy Documentation vs. Police Statements

Police informed the family that a **judicial autopsy** had been performed and provided:

- An **A4 photocopy** of a postmortem certificate
- The legally required death-notification section was missing
- Police collected **50,000 JPY** as a “judicial autopsy fee”

In Japan, judicial autopsies are **fully state-funded**; families are never charged.

Handwriting on the certificate resembles that of a hospital physician, not the forensic professor named as the author.

3. Administrative Domain — Death Notification Filed by a Third Party

The family did not complete or submit any death notification. However, the patient was removed from the family registry.

In 2026, the family obtained the **certified A3 integrated death notification**:

- “Informant” section bears the spouse's name
- Handwriting does **not** match any family member
- Occupational fields contain placeholder codes (“00”)
- Indicates a **third-party submission** (possible forgery)

4. Financial and Documentary Inconsistencies

The hospital invoice (Sept 2010) includes:

- **5,250 JPY document fee**, corresponding to a standard death certificate

A standard death certificate should **not coexist** with a judicial autopsy case.

5. Evidence Preservation Irregularities (Court-Supervised, Feb 8, 2011)

- PCI, CT, and echo data were reclassified as **“voluntary disclosure”** and excluded from the formal preservation list
- A ventilator record written under a different name—but matching the patient’s settings—was ordered destroyed
- A silent, unidentified man attended the session but does not appear in the official protocol
- Requests to include ECGs, echocardiograms, and ward logs were blocked

6. Structural Pattern Across Three Domains

The contradictions form a **cross-domain pattern**:

- Medical records omit major PCI complications visible in imaging
- Police statements conflict with autopsy documentation and financial records
- Administrative processing contradicts family testimony and handwriting evidence
- Multiple institutions provided explanations that changed over time
- Domestic media remained silent despite structured submissions

These inconsistencies cannot be explained by clerical error alone and indicate a **systemic irregularity** involving medical, judicial, and administrative processes.

7. Materials Available for Independent Verification

- PCI footage
- Full medical chart and nursing notes
- CT images (head/ chest/ abdomen)
- Laboratory data
- Hospital invoice
- Police explanation memo
- Postmortem certificate (A4 copy)
- Certified A3 death notification (2026)
- Handwriting comparison documents
- Evidence preservation protocol and related materials

All files are available in redacted form; unredacted versions can be provided securely.

Contact

Secure, anonymous contact options are listed at: <https://mortality-record-discrepancy.org/contact.html>

Evidence 1 — A4 Postmortem Certificate
(Copy handed by police; missing legally required death-notification section)

死亡診断書 (死体検案書)

この死亡診断書(死体検案書)は、我が国の死因統計作成の資料としても用いられます。かい書で、できるだけ詳しく書いてください。

記入の注意

氏名	男 1	昭和 年 月 日	明治 (昭和) 年 月 日
	女 2	大正 平成	(生まれてから30日以内に死亡したときは生まれた時刻も書いてください。) 午前・午後 時 分
死亡したとき	平成 22 年 9 月 12 日	午前・午後 4 時 37 分	
(12) 死亡したところ及びその種別	死亡したところの種別	①病院 2診療所 3老人保健施設 4助産所 5老人ホーム 6自宅 7その他	
	死亡したところ	茨城県取手市本郷2丁目1番1号 番地 番号	
(13) 死亡の原因	(ア) 直接死因	DICの疑い	発病(発症) 不詳
	(イ) (ア)の原因	不詳(検査中)	又は受傷から死亡までの期間 同上
(14) 死因の種類	(ウ) (イ)の原因		◆年、月、日等の単位で書いてください。ただし、1日未満の場合は、時、分等の単位で書いてください。(例：1年3か月、5時間20分)
	(エ) (ウ)の原因		
(15) 死因の種類	直接には死因に関係しないがI欄の病状経過に影響を及ぼした病名等		
	手術	①無 2有	手術年月日 平成 昭和 年 月 日
(16) 外因死の追加事項	解剖	①無 ②有	主要所見 急性心筋梗塞、胆汁性肝硬変、脾頭部腫瘍、肺に散在性病変、左側頭部硬膜下血腫(後頭部肝腫)
	死因の種類	1病死及び自然死 外因死 不慮の外因死 { 2交通事故 3転倒・転落 4溺水 5煙、火災及び火焰による傷害 } 6窒息 7中毒 8その他 その他及び不詳の外因死 9自殺 10他殺 11その他及び不詳の外因死	
(17) 生後1年未満で病死した場合の追加事項	傷害が発生したとき	平成・昭和 年 月 日 午前・午後 時 分	傷害が発生したところ 都道府県 市区町村
	傷害が発生したところの種別	1住居 2工場及び建築現場 3道路 4その他 ()	
(18) 生後1年未満で病死した場合の追加事項	◆伝聞又は推定情報の場合でも書いてください	手段及び状況	
	出生時体重	グラム	単胎・多胎の別 1単胎 2多胎 (子中第 子) 妊娠週数 満 週
(19) その他特に付言すべきことから	妊娠・分娩時における母体の病態又は異状	母の生年月日	前回までの妊娠の結果 出生児 人 死産児 胎 (妊娠満22週以後に限る)
	1無 2有	3不詳	
上記のとおり診断(検案)する			
〒305-8575 茨城県つくば市天王台1-1-1 筑波大学社会医学系法医学 本由良 先生			

生年月日が不詳の場合は、推定年齢をカッコを付して書いてください。

夜の12時は「午前0時」、昼の12時は「午後0時」と書いてください。

「老人ホーム」は、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム及び有料老人ホームをいいます。

傷病名等は、日本語で書いてください。
I欄では、各傷病について発病の型(例：急性)、病因(例：病原体名)、部位(例：胃噴門部がん)、性状(例：病理組織型)等もできるだけ書いてください。

妊娠中の死亡の場合は「妊娠満何週」、また、分娩中の死亡の場合は「妊娠満何週の間」と書いてください。

産後42日未満の死亡の場合は「妊娠満何週産後何日」と書いてください。

I欄及びII欄に關係した手術については、術式又はその診断名と関連のある所見等を書いてください。紹介状や伝聞等による情報についてもカッコを付して書いてください。

「2交通事故」は、事故発生からの期間にかかわらず、その事故による死亡が該当します。「5煙、火災及び火焰による傷害」は、火災による一酸化炭素中毒、窒息等も含まれます。

「1住居」とは、住宅、庭等をいい、老人ホーム等の居住施設は含まれません。

傷害がどういふ状況で起こったかを具体的に書いてください。

妊娠週数は、最終月経、基礎体温、超音波計測等により推定し、できるだけ正確に書いてください。

母子健康手帳等を参考に書いてください。

やすいインキでください。

とを知った日て7日以内にさい。

面でさしつかし。

氏名」には、りに記載され氏名を書いて

はふくまれます

はまるものしるしをつ

いて書いてく

印をござい。

Evidence 2 — Receipt for "Judicial Autopsy Fee"
(50,000 JPY collected by police; autopsies are state-funded)

領 収 証



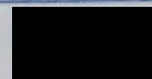
様

平成22年 9月 14日

★

¥ 50,000 円

但



此 預案料として

上記正に領収いたしました

〒305-8575 茨城県つくば市天王台1-1-1

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

筑波大学 人間総合科学研究科 法医学

本田克也



Lists of Certificate Fee

2010 September Invoice

診断書料金一覧

健康診断書・身体検査書	3,150円
交通事故診断書・後遺傷外診断書	7,350円
後遺傷外診断書(自賠用)	10,500円
県交通災害共済組合同診断書	3,150円
生命保険用診断書(簡易保険含む)	7,350円
生命保険用死亡診断書(簡易保険含む)	7,350円
裁判用診断書	7,350円
労災障害補償給付申請用診断書	4,000円
死亡診断書・死体検案書 1通目	5,250円
2通目以降1通につき	2,100円
死体検案料	15,000円
自賠責診断書	7,350円
自賠明細書	3,150円
おむつ証明書	1,050円
スポーツ安全協会傷害保険用診断書	3,150円
健康管理手当用診断書(児童手当、福祉手当等含む)	3,150円
福祉年金裁定用診断書(生保用含む)	7,350円
身体障害者手帳交付用診断書(生保用含む)	7,350円
各種年金、恩給用(軍人恩給用等)診断書	7,350円
各種年金、恩給用(軍人恩給用等)現況届	7,350円

その他

- ・ 遠方(諸事情など)により来院できない場合は、郵送受付も行っております。
 - ・ お電話でのお問い合わせの際は、患者番号(診察券に印字されています)をお知らせください。
- (郵送受付の場合も申込書、身分証明書のコピーが必要となります。当院医事課まで郵送ください。)

郵送ご希望の方へ(証明書等作成後)

診断書等ができあがりましたら、申込書の連絡先へご連絡いたします。連絡がありましたら、下記の手順で料金の払いをお願いします。

- ① 90円切手を添付した返信用封筒をご準備ください。(患者さんの住所・氏名もご記入ください。)
 - ② 郵便局で現金書留封筒をご購入ください。その後、現金書留封筒の所定記入欄にご記入ください。(送り主は、患者お名前をお願いします。)
- 郵送先は

入院診療費請求書兼領収書 総合 取手協同病院 取手協同病院 取手協同病院
 月に一度、保険証の提示をお願いいたします。 〒902-0022 茨城県取手市本郷2-1-1
 TEL 0297-74-5551(代)

診療科	患者番号	氏名	病室	管理番号
内科			4S CCU	053038

保険区分	国保本	負担率	10%	請求期間	22年9月1日 ~ 22年9月12日
初・再診料	医学管理料	在宅医療	検査	画像診断	投薬
			780		
療	リハビリテーション	精神科専門療法	処置	手術・輸血	麻酔
				放射線治療	病理診断
	3,920			62,192	150
費	入院料等	包括入院料	合計点数	食事療養費	食事負担金
	474	44,181	111,697		44,400
私	文書料	室料等額	付添送料	分娩料	児介補・悪露交換
	5,250				生活・治療材料
費	非	税			健診料
		13,125			
				18,375	18,375
					875
					62,775

この領収書は、確定申告等に使用できます。なお領収書の再発行はできませんので大切に保管して下さい。

Death Certificate Fee (5,250 JPY)

2022年9月15日午前0時15分受領

死亡届

平成22年9月15日届出

茨城県北相馬郡利根町 長 殿

受理 平成22年9月15日	発送 平成 年 月 日					
第 593 号						
送付 平成 年 月 日	長印					
第 号						
書類調査	戸籍記載	記載調査	調査票	附票	住民票	通知

(1) (よみかた)	氏名	昭利
(2) 氏名	昭利	男
(3) 生年月日	昭和 年 月 日	午前 時 分
(4) 死亡したとき	平成22年 9月 12日	午後 4時 37分
(5) 死亡したところ	茨城県取手市本郷2丁目1番1号	番地 号
(6) 住所	茨城県取手市本郷2丁目1番1号	番地 号
(7) 本籍	茨城県取手市本郷2丁目1番1号	番地 号
(8) 死亡した人の夫または妻	いる (満 歳)	いない (未婚 死別 離別)
(9) 死亡したときの世帯のおもな仕事	<input type="checkbox"/> 1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯 <input type="checkbox"/> 3. 企業・個人商店等(官公庁は除く)の常用勤労者世帯で勤め先の従業者数が1人から99人までの世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) <input type="checkbox"/> 4. 3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) <input type="checkbox"/> 5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯 <input type="checkbox"/> 6. 仕事をしている者のいない世帯	
(10) 死亡した人の職業・産業	職業 00	産業 00
(11) その他		
届出人	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 同居の親族 <input type="checkbox"/> 2. 同居していない親族 <input type="checkbox"/> 3. 同居者 <input type="checkbox"/> 4. 家主 <input type="checkbox"/> 5. 地主 <input type="checkbox"/> 6. 家屋管理人 <input type="checkbox"/> 7. 土地管理人 <input type="checkbox"/> 8. 公設所の長	
署名	昭和 年 月 日生	

記入の注意
鉛筆や消えやすいインキで書かないでください。

死亡したことを知った日からかぞえて7日以内に
出してください。

届書は、1通でさしつかえありません。

「筆頭者の氏名」には、
戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。

内縁のものはふくまれません。

□には、あてはまるものに☑のようにしるしをつけてください。

死亡者について書いてください。

◎届出人の印をご持参ください。

Evidence 4 — Certified A3 Death Notification (2026 copy; handwriting does not match family)

死亡診断書 (死体検案書)

この死亡診断書(死体検案書)は、我が国の死因統計作成の資料としても用いられます。かい書で、できるだけ詳しく書いてください。

氏名	昭利	性別	男	生年月日	昭和 年 月 日
死亡したとき	平成 22年 9月 12日	午前・午後	午後 4時 37分	死亡したところ及びその種別	茨城県取手市本郷2丁目1番1号
死亡したところ及びその種別	死亡したところ	死亡したところの種別(1-5)施設の種類	1病院 2診療所 3老人保健施設 4助産所 5老人ホーム 6自宅 7その他	死亡の原因	(ア) 直接原因 DICの疑い
死亡の原因	(イ) (ア)の原因	(ウ) (イ)の原因	(エ) (ウ)の原因	死因の種類	1病死及び自然死 外因死 不慮の外因死(2交通事故 3転倒・転落 4溺水 5煙、火災及び火炎による傷害) 6窒息 7中毒 8その他 その他及び不詳の外因死(9自殺 10他殺 11その他及び不詳の外因)
手術	1無 2有	解剖	1無 2有	外因死の追加事項	傷害が発生したとき 平成・昭和 年 月 日 午前・午後 時 分 傷害が発生したところの種別 1住居 2工場及び建築現場 3道路 4その他()
生後1年未満で病死した場合の追加事項	1無 2有	出生時体重	グラム	生後1年未満で病死した場合の追加事項	妊娠・分娩時における母体の病態又は異状
その他特に付言すべきことがら	心筋梗塞の部位と程度、脳幹部腫瘍の病期、肝臓病変等について精査を行う。				
医師	茨城県つくば市天王台1-1-1 筑波大学社会医学系法医学 (氏名) 医師 教授 本田 良也				

記入の注意
生年月日が不詳の場合は、推定年齢をカッコを付して書いてください。

夜の12時は「午前0時」、昼の12時は「午後0時」と書いてください。

「老人ホーム」は、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム及び有料老人ホームをいいます。

傷病名等は、日本語で書いてください。
1欄では、各傷病について発病の型(例:急性)、病因(例:病原体名)、部位(例:胃噴門部がん)、性状(例:病理組織型)等もできるだけ書いてください。

妊娠中の死亡の場合は「妊娠満月週」、また、分娩中の死亡の場合は「妊娠満月週」を書いてください。

産後42日未満の死亡の場合は「妊娠満月週産後何日」と書いてください。

1欄及び2欄に記した手術について、術式又はその診断名と関連のある所見等を書いてください。紹介状や伝聞等による情報についてもカッコを付して書いてください。

「2交通事故」は、事故発生からの期間にかかわらず、その事故による死亡が該当します。「5煙、火災及び火炎による傷害」は、火災による一酸化炭素中毒、窒息等も含まれます。

「1住居」とは、住宅、庭等をいい、老人ホーム等の居住施設は含まれません。

傷害がどういふ状況で起こったかを具体的に書いてください。

妊娠週数は、最終月経、基礎体温、超音波計測等により推定し、できるだけ正確に書いてください。母子健康手帳等を参考に書いてください。

上記の事項は、届書に記載があることを証明する。

令和 8年 5月18日

利根町長 山崎 誠一

Evidence 5 — Handwriting Comparison
(Death notification vs. actual handwriting of named informant)

Death Notification Handwriting

茨城县取手市本郷2丁目1番1号

Spouse's Handwriting

茨城县取手市本郷2丁目1番1号